

南丹保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(急性呼吸器感染症定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第9週 2026年2月23日 ~ 3月1日

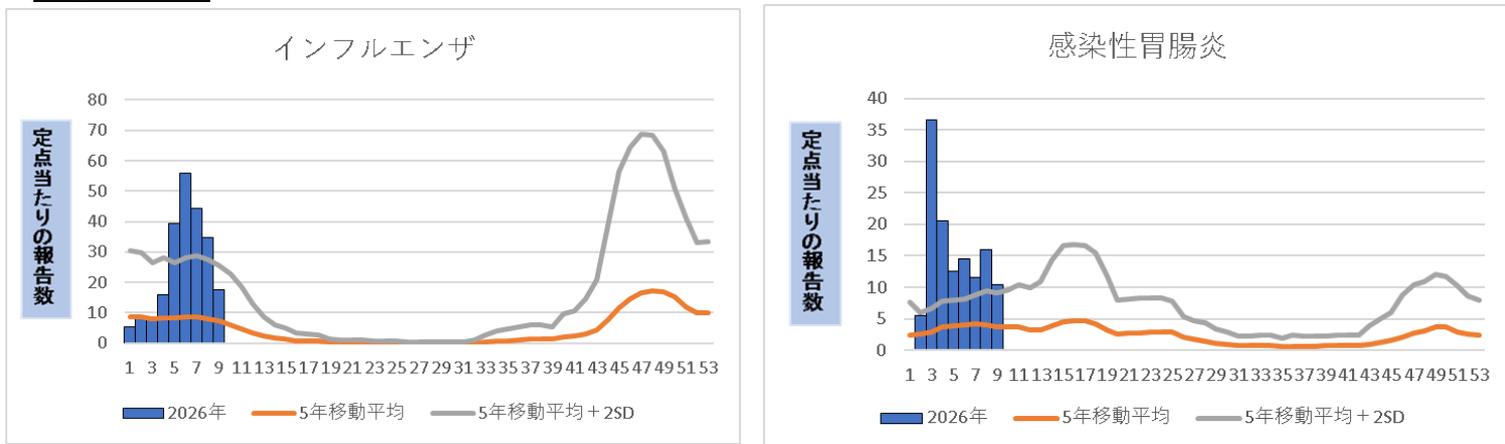
今週のコメント

南丹保健所管内では、**インフルエンザ**と**水痘**が**警報レベル**継続中です。
京都府内では、**インフルエンザ**が**警報レベル** 継続中です。

2026年第9週の報告です。

- インフルエンザの定点当たりの報告数は南丹 17.50(前週 34.75)、京都府 25.58(前週 35.66)となっています。
- 感染性胃腸炎の定点あたり報告数は、南丹 10.50(前週 16.00)、京都府 5.88(前週 6.63)となっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり報告数は、南丹 6.00(前週 7.50)、京都府 2.95(前週 4.63)となっています。
- 水痘の定点あたり報告数は、南丹 1.50(前週 2.50)、京都府 0.53(前週 0.83)となっています。

今週のグラフ (下記のグラフは管内上位2位疾患のグラフを掲載しています)



※横軸は週数 縦軸は定点あたりの報告数を示しています

- 『5年移動平均』は、過去5年間の平均値の変化を表しています。
- 『5年移動平均+2SD』は、過去5年間のデータのばらつきを考慮した上限を示しており、データの約95%がこの線より下に収まるとされる基準です。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)が8件報告されています！

手洗いや咳エチケット、傷口の清潔な処置といった基本的な感染防止対策を心がけましょう。

今年は第1~9週時点で既にSTSSの報告が計8件あがっており、特に報告が多かった2024年(第1~9週で11件)に迫る勢いとなっています。

【劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)とは】

小児の急性咽頭炎や伝染性膿痂疹(とびひ)、猩紅熱(しょうこうねつ)を引き起こす病因となる溶血性レンサ球菌(溶連菌)が、まれに傷口や粘膜などから体内に侵入してSTSSを起こします。(ただ、感染経路不明例も多くあります。)

【症状】

腕や足の痛みや腫れ、発熱、血圧の低下などから始まることが多く、その後、組織が壊死、呼吸状態の悪化・肝不全・腎不全などの多臓器不全を来し、場合によっては数時間で全身状態が悪化します。突然発症するケースが多く、急激に進行するため、適切で迅速な抗菌薬の投与など、集中治療が必要になります。

【京都府の状況】

京都府では2023年まで年間10~15件程度のSTSSの報告がありましたが、2024年以降急激に増加し、年間30~40件程度の報告があります。

【予防方法について】

手洗いや咳エチケット、傷口の清潔な処置といった基本的な感染防止対策を心がけましょう。

府内の流行状況等については[こちら](#)もご参照ください(2024年7月19日更新データ)

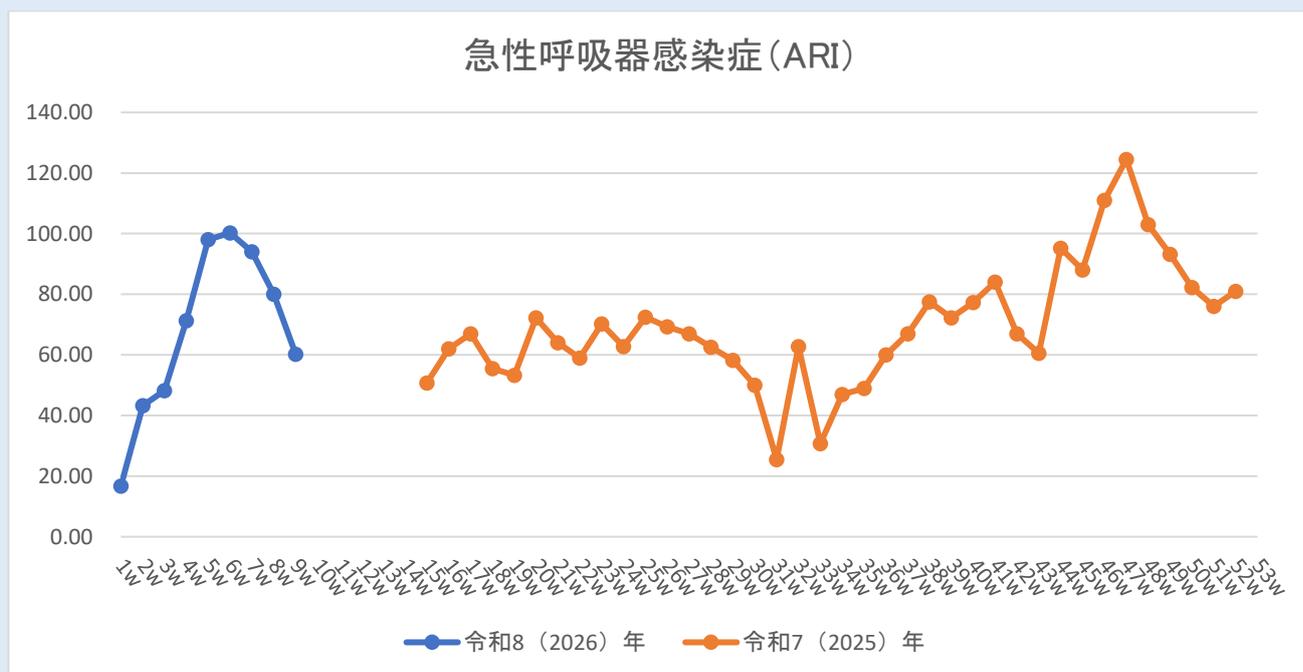
各定点把握疾患 発生状況(南丹管内)

	警報レベル		注意報	R8.9w		前週定点 (参考)
	開始	終息		定点当たり 報告数	前週比	
インフルエンザ*	30	10	10(流行1)	17.50	↘	34.75
新型コロナウイルス感染症				1.00	→	1.00
RSウイルス感染症				0.00	→	0.00
咽頭結膜熱	3	1		0.50	→	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4		6.00	↘	7.50
感染性胃腸炎	20	12		10.50	↘	16.00
水痘	2	1	1	1.50	↘	2.50
手足口病	5	2		0.00	→	0.00
伝染性紅斑	2	1		0.00	→	0.00
突発性発しん				0.00	→	0.00
ヘルパンギーナ	6	2		0.00	→	0.00
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	→	0.00
急性出血性結膜炎	1	0.1		0.00	→	0.00
流行性角結膜炎	8	4		0.00	→	0.00

急性呼吸器感染症(ARI)について

急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

南丹保健所管内第9週報告数は241件(定点当たりの報告数60.25)でした。[京都府の情報はこちら](#)



最新情報は下記のリンク先でご確認ください(関連リンク)

・[京都府感染症情報センター](#)

更新時期:(原則)毎週木曜日 14時 前週分の状況を更新

・[感染症の情報\(国立感染症研究所\)](#)